

実り多き夏休みのために

夏休み期間

小学校・中学校 / 7月27日(水)～8月21日(日) 弟子屈高校 / 7月29日(金)～8月18日(木)

命を大切にしよう
生活のリズムを守ろう
非行を起こさないようにしよう
事故には十分に注意しよう

- ▶外出するときには、帰宅時間や行き先を保護者に必ず伝えましょう。
- ▶学校で禁止されている場所(ゲームセンターやカラオケボックスなど)には、出入りをしないようにしましょう。(補導対象になります)
- ▶立ち入り禁止区域など、危険な場所には行かないようにしましょう。
- ▶帰宅時間を守りましょう。(小学校・中学校・高校で異なります)
- ▶小・中学生のみでのキャンプ・外泊は禁止です。
- ▶学習にも計画的に取り組み、苦手な範囲を復習しましょう。

町民の皆さんへ

子どもたちが待ちに待っていた夏休みがいよいよ始まります。長期の休みでは、解放感から不規則な生活になったり、さまざまな誘惑に乗ってしまったり、不適切な行為に走る恐れがあります。また、活動の範囲が広がるため、事件・事故に巻き込まれる可能性も高まります。

子どもたちには、この夏休みを楽しく、安全で実り多きものにしてもらいたい、地域の一員として自立的に生活し、人と人との絆を強めていってほしいと願っています。

町民の皆さんには、見守りの輪を広げ、時には叱咤(しった)激励していただけるとありがたいと思います。地域の子どもたちに関心を持っていただき、ご協力いただけるよう、よろしく願います。

弟子屈町生徒指導連絡協議会・町教育委員会

町・弟子屈防犯協会・川湯防犯協会・弟子屈町少年補導員連絡協議会
弟子屈警察署 ☎ 4 8 2 - 2 1 1 0 川湯駐在所 ☎ 4 8 3 - 2 1 5 1

弟子屈小学校 ☎ 4 8 2 - 2 0 4 4	川湯小学校 ☎ 4 8 3 - 2 0 4 1	和琴小学校 ☎ 4 8 4 - 2 0 6 1
美留和小学校 ☎ 4 8 2 - 1 0 9 7	奥春別小学校 ☎ 4 8 2 - 4 8 1 9	弟子屈中学校 ☎ 4 8 2 - 2 0 7 1
川湯中学校 ☎ 4 8 3 - 2 3 3 7	弟子屈高校 ☎ 4 8 2 - 2 2 3 7	

弟子屈高校 来年度2間口を確保



5月24日の北海道教育委員会への要望の様子

この春、弟子屈高校に入学した1年生は、80人募集に対し39人。定員の不足から1クラス(1間口)となっていました。

このままでは、来年度以降の募集枠も1間口となる恐れがあることから5月24日、北海道教育委員会に対し、弟子屈高校の2間口確保を求め、要請活動を行いました。柴田達夫北海道教育委員会教育長のもとを訪れたのは、町・町議会・町教育委員会のほか、弟子屈高校と弟子屈中学校のPTA役員など総勢7人。柴田教育長に要望書を手渡しました。

北海道教育委員会へ、来年度の弟子屈高校の募集間口2枠が確保されました。

本町にとって弟子屈高校はまちづくりの柱の一つであり、その存続は子どもたちの将来にも関わる重要な問題です。町・町教育委員会では引き続き、北海道教育委員会の公立高校配置計画などを見守りつつ、弟子屈高校が持つ多くの魅力を発信するなど、関係機関と連携を取りながらさまざまな活動を続けていきます。

懇談会の中で柴田教育長からは「弟子屈高校は地域になくてはならない高校。地元における進学率も高く、北海道教育委員会としても応援している」と前向きな回答が得られました。

なお、後日開催された北海道教育委員会

生徒指導連絡協議会便り

7月1日 No. 6

「子供らを被害者に 加害者にもせずに」

皆さまには、日頃より本町の児童・生徒の健全育成にお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。

弟子屈中学校に勤務して1年になる私は、釧路市との往復150*の車中で音楽を聴きながら思いを巡らす機会が増えました。その中で「子供らを被害者に加害者にもせずに」というフレーズを核にしたMr. Children(ミスターチルドレン)の「タガタメ」という曲と出会いました。そして、先のフレーズの後に「この街で暮らすため まず何をすべきだろう?」と続くこの歌に、微力ながらも弟子屈町の教育に携わるものとして、また一人の子の親として、強い衝撃を受けました。

さて、本協議会の役割を「この街、弟子屈でさまざまな立場で暮らす大人が、弟子屈町の未来を担う子ども一人一人の健全な成長に寄与する事業の推進を目的とする組織である」と捉えたとき、この便りを通して、弟子屈町で暮らす大人一人一人が「タガタメ(誰がため)」をさまざまな角度で解釈し、行動することで、弟子屈町に暮らす大人の責任は何かを考える機会になればと思います。

子どもたちの健やかな成長は、国や町の将来にとってとても重要です。しかし、子どもたちを取りまく問題として、悲惨ないじめや耳を疑う虐待などの報道がなされ続けています。子どもを取り巻く環境が激変する中、一見、子どもだけの世界で起きていると捉えがちなのれらの出来事の多くは、実は、大人の世界で起きていることに他ならないということではないでしょうか。

子どもたちに「卑怯(ひきょう)なことば、恥ずかしいことば」と毅然(きぜん)とした態度で教えられる大人が増えるとともに、子ども達の健全育成を願う、担う私たち大人が、それぞれの立場で「子供らを被害者に加害者にもせずに」この街で暮らすため、まず何をすべきだろうか?と考えたとき、大人一人一人の堂々とした生き方(振る舞い)を示すことがこれまでに上にも求められているのではないのでしょうか。

今年も弟子屈町生徒指導連絡協議会の活動推進に深いご理解と心温まるご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

弟子屈町生徒指導連絡協議会

会長 杉山 稔(弟子屈中学校長)

町内団体の取り組みを紹介 ~川湯小学校~



縦割り班ごとに整列

川湯小学校では「校舎外清掃」という清掃時間の中で、縦割り班ごとにその季節に合った活動をします。雪が解け切り、暖かくなった5月ごろには、折れた枝やごみを拾いいます。6月には運動会に向け、グラウンドの石拾いや雑草抜きを行います。6月から10月にかけて花壇活動が入ります。お手伝いに来てくれたお父さん・お母さんと一緒に花壇に花を植え、毎月1回、全校児童で雑

草抜きや枯れた花の間引きなどを行います。そして、雪が降る前に花壇を片付けることで、きれいな花壇作りに取り組んでいきます。

縦割り班活動では、各学年が目標を持って活動しています。高学年は「リーダーとして工夫をしながら下級生を引っ張っていきこう」。中学年は「自分から進んで一生懸命活動しよう」。低学年は「みんなと協力して最後まで頑張ろう。」としています。高学年が立派に引っ張っていき、下の学年もその姿を目標にして活動していくことができていると思います。



力を合わせて花壇整備

お知らせ

今年も半年が過ぎ、本格的な夏を感じる季節となりました。

この度、各方面のご協力により無事に第6号が発行できましたことをこの場をお借りして感謝申し上げます。

生徒指導連絡協議会では、本協議会の理念である「町民が一体となって、児童・生徒の健全育成に関わっていく」ことに主眼を置いて活動しております。

今後もこの便りを、関係各団体からの情報発信や、町民の皆さまへの情報提供の場にしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

問い合わせ先 / 弟子屈町生徒指導連絡協議会 事務局(弟子屈中学校) ☎ 4 8 2 - 2 0 7 1